

福山市廃棄物減量等推進審議会議事録（要約）

2014年（平成26年）8月20日（水）13時30分～14時45分

福山市役所本庁舎6階60会議室

出席委員数（16名）

委員：三好委員，藤井（智）委員，瀬尾委員，佐藤（多）委員，松本委員，瀬戸田委員，萩田委員，藤本委員，福永委員，柴田委員，齋藤委員，川久保委員，藤井（輝）委員，大原委員，中安委員，佐藤（彰）委員

事務局：経済環境局長，環境部長，環境総務課長，環境保全課長，廃棄物対策課長，廃棄物対策課産業廃棄物担当課長，環境啓発課長，南部環境センター所長，南部環境センタークリーンセンター担当課長，西部環境センター所長，北部環境センター所長，北部環境センター新市業務担当課長，東部環境センター所長，環境啓発課長補佐兼次長，環境総務課政策担当次長，環境総務課庶務担当次長，廃棄物対策課第1担当次長，環境総務課職員

【承認事項について】

承認事項	承認内容
会長・副会長の選任について	福山市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例施行規則第5条第2項により，会長及び副会長を選任しました。会長の選任については，委員からの提案により，事務局案として藤井委員（前会長）を引き続き会長として提案し，承認されました。また，副会長の選任については，委員から藤井会長の推薦による選任との意見があり，引き続き鶴崎委員（前副会長）を推薦し，承認されました。

【議題1 2013年度（平成25年度）ごみ排出量等について】

発言者	質疑・提案	応答
萩田委員	リサイクル率の算出について「ごみの資源化量」や「資源回収量」とは，具体的にはどのようなものでしょうか。	リサイクル率は，（ごみの資源化量＋資源回収量）を分子，（ごみ処理量＋資源回収量）を分母としてもとめています。ごみの資源化量の内訳は，資源ごみ等で回収し資源化したもの10,023トン，蛍光灯18トン，RDF化量51,695トンです。資源回収量の内訳は，資源回収補助金制度の対象が9,859トン，公共施設での拠点回収量1,408トン，エコショップ協議会での回収量149トンで，合計の73,152トンが分子となります。分母は，ごみ収集で回収した量152,669トン

		と資源回収量11,416トンの合計164,085トンになります。
福永委員	埋立処分量について、各埋立地の残余容量・年数はどの位でしょうか。	主要な埋立地である箕沖埋立地では、残余容量が約380,000m ³ です。現状の年間埋立量約18,000トンのペースで25年程度と算定しています。
萩田委員	ごみの排出量が2005年度から下がってきていますが、理由や要因はなんでしょうか。	2004年度より「ごみ減量大作戦」を展開し、3Rの推進、分別の徹底、資源回収の推進等を地域を中心に取り組んでいただいた結果、一般廃棄物処理基本計画の目標（2015年度までに157,000トン）を2009年度に6年前倒しで達成できました。
大原委員	2012年度に比べ、可燃ごみの回収量、中でも直営での回収量が増えていますが、何か要因はありますか。	国の経済対策である緊急雇用創出事業として、2009年度から2012年度までごみステーションに可燃ごみとして出された紙ごみの別回収を行いました。2013年度に廃止したことにより、その分が通常の可燃ごみとして回収され増加したものと考えています。
萩田委員	事業系ごみの可燃ごみが若干増加していますが、理由は何でしょうか。	景気回復傾向で外食産業での食べ残し等の厨芥ごみが増えたと考えられます。工場搬入時の検査においても厨芥ごみの多さが確認されています。

【議題2 2013年度（平成25年度）重点政策・主要施策の概要について】

発言者	質 疑	応 答
藤井会長	箕沖地区では次世代エネルギーパークなど、環境面において先進的な取組をされていますが、環境観光について具体的な計画などがあるのでしょうか。	2013年度に「福山市次世代エネルギーパーク基本計画」を策定し、その中の取組としても、市の施設だけではなく民間施設等との見学施設の組合せや市の施設を起点としてのコースの提案などを現在検討中です。また、国による「地域活性化総合特別区域」の認定により、県が取り組む「環境観光モデル都市づくり推進特区」事業においては、民間事業者を含め、様々なツアーを企画・実施されています。今後の新たなビジネスチャンスにもなるのではないかと考えています。

瀬戸田委員	最近、地域のマンパワーが少子高齢化等を理由に落ちており、地域での資源回収活動等にも影響が考えられます。行政としても地域のマンパワーを様々な交流等を通じ、高まる様、バックアップしていただきたい。	各地域、学区等で「地域まちづくり計画」により、地域連携を構築していただいています。その中でもしっかり取り組んでいただけるものと考えています。団塊の世代の活躍を含め、地域等でのより一層の取組を期待しています。
松本委員	健康、スポーツの推進という観点から、今後のごみ処理施設計画の中で、温水プール等の健康施設併設のごみ処理施設の検討や計画はありますか。	費用面、敷地等の関係から、現在は考えていません。

【議事3 その他（福山市廃棄物減量等推進審議会関係規定について ほか）】

発言者	質 疑	応 答
瀬尾委員	笠岡市が指定ごみ袋の有料化をされるそうですが、それに伴い、福山市への不法投棄が懸念されますが、何か対策はありますか。また、福山市はごみの有料化を考えていますか。	以前に近隣市町が有料化された際も、不法投棄が増えたということは確認されていませんので、特別な対策は考えていません。ごみの有料化につきましては、一般廃棄物処理基本計画にもありますように、粗大ごみについては工場の処理能力の関係からも排出量の抑制が必要であり、検討課題ですが、現状ではごみは減少していますので、今のところ有料化は考えていません。